

2021 年(1月1日～12月31日)活動報告

動物実験計画書の年間の承認件数

	新規	変更	軽微変更	計	計画数 ^{※1}
医学部	42	3	29	74	159
医学部附属病院	16	1	6	23	45
大学院医学系研究科	0	0	0	0	1
バイオメディカル研究所	26	1	12	39	81
農学部	24	0	13	37	88
繊維学部	4	0	7	11	22
理学部	0	0	0	0	1
基盤研究支援センター	7	0	8	15	25
計	119	5	75	199	422

※1:2021年より前に承認された計画も含み、2021年中に有効な承認期間が存在する実験計画の総数

施設の情報(機関の長によって承認された飼養保管施設および動物実験室)
飼養保管施設

	新規	廃止	総設置件数
農学部	3	1	17
繊維学部			2
基盤研究支援センター 動物実験支援部門			38
計	3	1	57

動物実験室

	新規	廃止	総設置件数
理学部			1
医学部	1	13	34
農学部		1	20
大学院農学系研究科			1
繊維学部			7
基盤研究支援センター 動物実験支援部門			29
基盤研究支援センター 遺伝子実験支援部門	2		3
基盤研究支援センター 機器分析支援部門			2
計	3	14	97

動物実験計画審査所要日数

最大所要日数 409 日
 最短所要日数 1 日
 平均所要日数 30 日

※研究支援課で受付した日～承認された日までの間

小委員会開催回数

医学系動物実験小委員会 66 回 (内訳: 新規・変更 22回、軽微変更 44回)
 農学系動物実験小委員会 26 回 (内訳: 新規・変更 18回、軽微変更 8回)

教育訓練の実績(実施月日、実施内容の概略、参加者数)

実施内容の概略: 1)動物実験における注意点(動物倫理など)
 2)信州大学動物実験等実施規程について
 3)実験計画書など各種申請書類など(事務手続き)
 4)施設利用法について
 5)その他

松本キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	14	95	1/21, 1/28, 3/10, 4/23, 4/28, 4/30, 5/13-14, 5/28, 7/28, 7/29, 9/30, 10/8, 10/28, 11/2
教育訓練(再講習)	6	24	2/15, 4/19, 6/8, 8/4, 10/14, 12/13
SPF区域講習会	3	3	3/19, 5/11, 10/13
感染区域講習会	0	0	-

伊那キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(再講習、施 設利用講習会含む)	8	86	4/8、4/19、6/8、10/14、 10/20、10/22、10/25、12/13

上田キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	6*	11	1/21, 1/28, 4/23, 4/28, 7/28, 10/28
教育訓練(再講習)	1*	2	4/19

* : 松本キャンパスで実施した。

基盤研究支援センター動物実験支援部門 施設利用状況

集計年： 2021 年（1月1日～12月31日）

年間延べ入館者数： 21,787 人
 利用登録者数： 511 人
 施設見学者数(合計)： 53 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	1,980
ラット	1,549
モルモット	0
ウサギ	25
ブタ	1

動物飼養数

動物種	数
マウス	11,426
ラット	237
モルモット	0
ウサギ	3
ブタ	0

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	44,490
ラット	2,338
モルモット	10
ウサギ	15
ブタ	1

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の 카테고리に関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	1	32	77	201	311
割合(%)	0.3	10.3	24.8	64.6	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

定期検疫検査

SPF区域 4 回

普通区域 4 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

SPF区域 0 系統

普通区域 5 系統

検疫結果はいずれも陰性

胚操作業務

体外受精・胚移植
(クリーニング) 0 件

体外受精・胚移植
(系統維持) 6 件

胚凍結/融解 7 件

遺伝子改組動物作製
(CRISPR/cas9) 5 件

精巢上体尾部採取 0 件

精子凍結 3 件

農学部 飼養保管施設利用状況

集計年： 2021 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	16 人
大学院生	42 人
学部学生	77 人
その他	4 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	1001
ラット	89
ニワトリ	918
ウズラ	0
ニホンジカ	0
ヒツジ	0
ウシ	1
ヤギ	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	871
ラット	18
ニワトリ	918
ウズラ	5
ニホンジカ	4
ヒツジ	33
ウシ	56
ヤギ	3

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	2592
ラット	94
ニワトリ	1016
ウズラ	0
ニホンジカ	0
ヒツジ	0
ウシ	0
ヤギ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の 카테고리に関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	2	34	33	19	88
割合(%)	2.3	38.6	37.5	21.6	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

定期検疫検査

2 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

0 系統

繊維学部 実験実施状況

集計年： 2021 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	5 人
大学院生	8 人
学部学生	37 人
その他	5 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	244
ラット	34
緬羊	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	785
ラット	58
緬羊	29

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	1,695
ラット	230
緬羊	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	4	8	10	22
割合(%)	0.0	18.2	36.4	45.5	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。

定期検疫検査

2 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

4 系統

検疫結果はいずれも陰性

理学部 実験実施状況

集計年： 2021 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	1 人
大学院生	0 人
学部学生	0 人
その他	0 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	0
ラット	8

動物飼養数

動物種	数
マウス	0
ラット	0

※特定日の飼養数あるいは
一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	0
ラット	8

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	1	0	0	1
割合(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。